

〈イミグレーション・ミュージアム・東京〉秋のプログラム第1弾、まもなく開幕！

「フィリピンからの、ひとりひとり マキララ ―知り、会い、踊る―」

あべはつみ

演出家・阿部初美の構成・演出による映像展示、ワークショップを9月に千住エリアで開催

―「マキララ」は、フィリピンの言葉で「知り合う」。
映像展示と対話型ワークショップ、フィリピーノ流パーティーの3つのプログラムを通じて、
彼や彼女、ひとりひとりと知り合ってみませんか。

足立区は、東京23区の中でフィリピン人の居住者数が最も多い地域です。国民の90%がカトリック信者ともいわれるフィリピン。日曜になると、梅島（足立区）の教会には100名以上が集まります。ミサの後には歌やダンス、色とりどりの料理があふれ、にぎやかなおしゃべりが飛び交います。そんな彼らは普段、どんなことを感じながら日本で暮らしているのでしょうか。

「音まち」では、地域に暮らすニューカマーの生活様式や文化背景を紹介/共有するアートプロジェクト「イミグレーション・ミュージアム・東京」（企画・監修：岩井成昭 [美術家]）の一環として、2014年からフィリピンコミュニティの人々と関係を築いてきました。

本プロジェクト「マキララ」では、演出家・阿部初美が教会に通うフィリピーノにインタビュー。その内容をもとに構成した映像作品の展示「知る」、阿部がファシリテートするワークショップ「会う」、誰でもあたたかく受け入れるフィリピーノたちの楽しみ方にインスピレーションを得たパーティー「踊る」の3企画を、2週末（6日間）にわたり、千住の古民家「仲町の家」を主会場に開催いたします。



写真：富田了平

2016（平成28）年9月10日（土）-19日（月祝） ※土日・祝日のみ開催

【展示】 [WS] 仲町の家（北千住駅 [西口] 徒歩約10分） [東京都足立区千住仲町29-1]、入場無料

- 映像展示 | 知る Their history, to be our story 9/10(土)、11(日)、12(月)、17(土)、18(日)、19(月祝) 10:00-17:00
- ワークショップ | 会う なにが気になる? 9/11(日)、18(日) 17:00-19:00 定員各回15名（事前申込優先）※英語通訳あり
- パーティー | 踊る フィリパビポ!! 9/17(土) 18:00-20:00 (17:30開場) 定員100名（事前申込優先）

※パーティーの会場は東京藝術大学 千住キャンパス 第7ホール、フィリピンフードは有料

【展示】 構成・演出：阿部初美 映像：富田了平 会場構成：日本大学 佐藤慎也研究室



阿部初美 | Hatsumi Abe 演出家

にしすがも創造舎レジデント・アーティストとして東京国際芸術祭を中心に、ドキュメンタリー作品『4.48 サイコス』、『アトミック・サバイバー』などを発表。東京藝術大学、地域創造リージョナルシアター事業、全国の公共劇場などで講師を務める。2010年に出版、「産み育てを考えるワークショップ」を全国5都市で実施。子育てをしながら舞台にとどまらない表現を探求しつつ活動中。

お問い合わせ先 | アートアクセスあだち 音まち千住の縁 事務局

TEL : 03-6806-1740 MAIL : info@aaa-senju.com WEB : http://aaa-senju.com

担当 : 松岡 [matsuoka@aaa-senju.com]、長尾 [nagao@aaa-senju.com]

アートアクセスあだち 音まち千住の縁（通称「音まち」）は、アートを通じた新たなコミュニケーション（縁）を生み出すことをめざす市民参加型のアートプロジェクトです。足立区千住地域を中心に、市民とアーティストが協働して、「音」をテーマにしたまちなかライブ、ワークショップ、トークイベントなどを展開します。

主催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、

東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科、特定非営利活動法人音まち計画、足立区

助成：一般財団法人YS市庭コミュニティ財団/協力：カトリック梅田教会/平成28年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業